

# ハッピー通信



2023年12月12日発行

23-50号

(<http://www.jremnant.com/>)

現場から（最近のニュースから）

## 味方がいても



11月30日に『いちばんすきな花』（フジテレビ系、木曜よる10時～）の第8話が放送され、その中で人を救うための、寄り添うための一つの正解が見つかったような回だったと紹介している記事がありました。

第8話では「ポジティブワード」の発表会がドラマの中であったそうです。そのときに、出演者があれこれ言うのですが、中には「失敗は成功のもと」と言ったあと、「成功者は失敗を悠々と語るよね」と言い、「止まない雨」とか「明けない夜」とかないらしいけど、咲かない花はあるしね」「置かれた場所で咲きなさい」とか良い言葉だよね。できれば最初から咲ける場所に置いてほしいけど」とつぶやくせりふがあったようです。そのような名言では、人の心はやすらげないということです。そのあと、場面が変わり、「クラスメイトの子が嫌われているのに、何もしてあげられない」と嘆く人に、「ほんとうにみんなが嫌っているのか。あなたは嫌っていないから、みんなではない」と言い、「みんなでないだけで、その子は救われるよ」というセリフがあったそうです。また、他の場面で「昔、塾のみんなから嫌われていた」という人に、「みんなではないよ、私と〇〇は好きだったよ」と言う場面があったそうです。

それらの場面から、記事では、次のように言われていました。「苦しんでいる人を救うのは、赤の他人が考えたポジティブワードではなく、味方でいてくれる誰かの存在なのだろうなと思えてならない。もちろん『他人は変えられないけど自分を変えられる』などのポジティブワードを聞いたことにより、噴気して困難を開ける瞬間はあるかもしれない。とはいえ、『その人を助けたい』という気持ちが少しでもあるならば、耳障りの良い言葉ではなく「好き」の2文字——『自分是你のことが好きです』ということ伝える言動を示すことが一番良いのだろうと思った。」（12月7日女子SPA!<落ち込んだ時に救われるのはどんな言葉? 「ポジティブ名言」よりずっと効く「たった2文字」>より）

「あなたのことを好き」この「好き」の2文字が相手に味方なのだ伝えることになり、心を安らがせるということでしょう。たしかに、たったひとりで孤独で、みんなが敵に思えるとき、人はとても心がたくなりますから、自分に味方がいて、その人が好意的に見てくれることは、とても力強いことです。しかし、すべての人は弱く、ほんとうに相手のことばかりを思い続けることができる人はいません。ですから、味方だと思っていた人が、突然、自分から離れてしまうように感じることもあるでしょう。そのようなとき、味方だと思っていたゆえに、よけいに傷ついてしまっ「味方だと言ってくれていたのに…」となるのではないのでしょうか。ただし、そうなるのは、仕方ないのです。なぜなら、あなたの心がさびしく、つらいのは、味方がいないからではないからです。あなたの心がなぜ、つらくさびしく、みんなに嫌われているかのように思うのか、それには、目に見えない理由があります。その理由を知り、解決を知るなら、いままでとは違った考え方になります。目に見えない理由、それについてお分かちしたいのです。



## 救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあり、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になる、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快樂に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをし、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(1ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってくださいましたことを感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください